

—法政大学の「傾向と対策」総評—

★出題傾向について★

以前は各学部の特徴を表した入試問題が作られていましたが、学生の多様化と質の低下や受験生獲得競争の中、2005年から5日間の日程(文系のみ、2009年から統一入試が始まり6日間になる)で、全ての学部学科の入試を合理的に行うため、日別に入試問題を作成するようになりました。

そのために、当たり前ですが、**学部別の傾向は薄れました(多少…単元に偏りがあるようには見えますが…学部別のナショナリズムを参照)**。このことは、上智大学や立教大学と同様に、“**大学色**”と言うモノが**重視**されることとなり、6日間(世界史は5日間)の**過去問全体から出題傾向を読み取る**と言う、受験生としては狙いやすさを生み出してくれたのです。

★出題レベルと形式などの特色★

大問は3問。問題数は比較的多く50～60問。日程によって様々ではありますが、記述は2～3割程度・用語選択が3～4割程度・正誤文章選択が3～4割程度で、センター試験のレベルアップ版といったところでしょう(但し、**文章正誤問題はセンターよりはるかに難しく、明治・立教・中央の正誤問題と同じレベル**なので、**過去問から正誤だけを抜き出して演習する必要**があるでしょう)。

また、7～8年前までは“特殊テーマ史”(オリンピック史・万国博覧会史・交通機関の歴史・文字史・暦の歴史など)を沢山出題することで有名(全私立大学のテーマ発信源)でしたが、近年は減り、一般レベルの通史問題になりました。今でも特殊テーマ史の出題はありますが、通史知識力があれば対応できる程度です。テーマ史は**各国史&文化テーマ史**に注意しておけばカバーできるでしょう。

出題形式としては、入試の大半を占める空所補充ですが、明らかに年々易化しています。よって、Aレベル(用語集赤字)は6～7割程度、Bレベル(頻度2～3)が2～3割、Cレベル(頻度1～掲載無し)が5%程度といったところです。世界史巧者は9割越えも十分に狙え、**同配点の学科は世界史で合格を取りにいけるはず**です。

★出題内容と狙い方★

西洋と東洋のバランスや古代～近代と近現代のバランスはまちまちですが、あまり偏ることはないで、時代・地域は満遍なく見ておきたいところです。ここ5年間は完全スライド出題になったため、**過去5年で同日出題された単元やテーマは少なく、2～4年に他学部で出題されているモノが狙われる傾向**は確実です。スライドしやすい単元・テーマがいくつかあるので、6カ年のデータからしっかりと読み取っておきましょう。

★全体的に…★

年によって、各学部の出題形式がコロコロ変わります。正誤問題が多い年、文章内空所補充が多い年などマチマチです。ですから、あまり、昨年の出題形式を当てにせず、臨機応変に回答できる気構えで本番を迎えましょう。空所補充は、選択肢の数が多いために迷いますが、まずは選択肢を見ずに、記述のつもりで解いていくと、案外すんなり解けるでしょう。他学部の過去問をでき限り多く説いて、慣れることが大切です。勿論、しっかりとスライド出題を当てることは大切です。ちなみに、戦後史はハイレベルが多いので、高得点を狙う人は戦後史には力を入れておきたいところです。

★配点表★

法学部(国際政治学科)	英200 国100 地歴100	★
法学部(法律・政治学科)	英150 国100 地歴100	
文学部(哲学・日本文学・史学科)	英100 国100 地歴100	☆
文学部(英文学・地理学・心理学科)	英150 国100 地歴100	
経済学部	英150 国100 地歴100	
社会学部	英150 国100 地歴100	
経営学部	英150 国100 地歴100	
国際文化学部	英150 国100 地歴100	
現代福祉学部	英150 国100 地歴100	
キャリアデザイン学部	英150 国100 地歴100	
スポーツ健康学部	英150 国100 地歴100	
人間環境学部	英150 国100 地歴100	

*英語の配点が150、その他の2教科は100点。となると、**英語は勿論ですが、あと1教科ができれば受かる**ということ。国語が苦手ならば国語6割、世界史8割。世界史が苦手ならば世界史は6～7割をとる勉強法(捨てる単元と絶対に取り単元を決める)で国語を8割。合格のための勉強法を大切にしてください。

<u>第1日目</u>	2/05	全学部 T日程 … 世界史受験なし
<u>第2日目</u>	2/07	文(哲・日・史)・経営(経営)・人間環境
<u>第3日目</u>	2/08	法(国際政治)・文(英・地・心)・経営(戦略・市場)
<u>第4日目</u>	2/09	経済(国際・ビジネス)・社(政策・メディア)・現代福祉
<u>第5日目</u>	2/12	経済(経済)・スポーツ健康・社(社会)
<u>第6日目</u>	2/16	国際文化・キャリアデザイン・法(法・政治)

ー法政大学のナショナリズムー

★中国史★ 出題率が高いので要注意(北方民族・貿易・近現代が中心)

①古代中国史の有名な業績

諸子百家、始皇帝、武帝、王莽、孝文帝、煬帝、太宗、玄宗など

②モンゴル帝国史

チンギス・オゴタイ・フビライの業績、フビライの大遠征、四ハン国、ヒトとモノの交流

③明・清王朝

明・清の歴代皇帝の業績、鄭和の南海遠征と南海諸国、清の領土拡大の流れと地図

④清朝末期(アヘン戦争～辛亥革命まで)

戦争と条約の内容比較、洋務運動と変法運動の比較、義和団事件～辛亥革命までの流れ、中国分割は地図、義和団事件はその経過と北京議定書の内容を詳しく

⑤清末の対外関係(属国の行方)

朝鮮は日本、ベトナムはフランスの侵略、外モンゴルとチベットの独立とその後

⑥中華民国史(辛亥革命後から)

文学革命～国共合作～北伐～長征の流れ、柳条湖事件と盧溝橋事件～太平洋戦争～国共内戦～中華人民共和国(戦後史も出る)

⑦各王朝の周辺遊牧民族史

前漢・後漢・北魏・唐・北宋・南宋・元・明・清のそれぞれの周辺地図からどんな民族がいて、どういう歴史を歩んだかを確認しよう

★その他のアジア史★

①インド全史

インダス文明～ヴァルダナ朝の有名国王の業績、イスラーム化とムガル帝国、イギリスによる植民地化、ガンディーと印パ戦争

②東南アジア・イスラーム王朝(前近代)史

ベトナム王朝、タイとビルマの王朝、ジャワとスマトラの王朝、2世紀の東西交流、宗教の違い
イスラーム教成立～アッバース朝、アイユーブ朝、セルジューク朝、ムラービト朝、ガズナ朝など

③ティムール帝国とサファヴィー朝

ティムールの業績、サマルカンド、ウズベク族、アッバース1世、イスファハーン

④オスマン帝国の盛衰 *絶対的に出題!

スレイマン1世までの歴代スルタンの業績東方問題、タンジマート～青年トルコ革命の流れ

⑤朝鮮半島史

新羅・高麗・朝鮮王朝の比較、朝鮮半島への日本侵略の流れ

⑥アフリカ分割と反帝国主義運動

ベルリン会議,英縦断政策×仏横断政策,南ア戦争,エチオピア・リベリアの独立,ギニア湾地域

⑦20世紀の東南アジア史(反帝国主義運動～独立運動へ、民族主義者中心に)

ファン＝ボイ＝チャウ・アギナルド,ホーチミン・スカルノ・アウン＝サンなどの活躍

★欧米通史★ *広く浅くの出題なので、あまり絞り込まない方がいい、下記は敢えて言うともい单元！*

- ①ギリシア世界の興亡(人物と戦争と文化)
- ②ローマ＝カトリックの盛衰(ローマ帝国・フランクとの関係～宗教改革)
- ③ビザンツ帝国とイスラームとの関わり
- ④古代アメリカ文明と大航海時代(新大陸支配と貿易)
- ⑤西欧&東欧絶対王政と列強の植民活動(大航海からの続き)
- ⑤アメリカ合衆国の独立～南北戦争～米西戦争とパナマ運河
- ⑥ロシアの南下政策(東方問題)
- ⑦ラテンアメリカの独立(独立指導者とアメリカの外交)
- ⑧19世紀のイギリス(自由主義)・フランス(政体の変遷)・ドイツ統一(流れ)
- ⑨帝国主義時代の欧米諸国
- ⑩第一次世界大戦後の欧米諸国(特にドイツとアメリカ) *ヴェルサイユ体制とその内容*

★戦後史★ *出題されるとレベルが高い。年代が細かいので注意！有名事件と人物は絶対です！*

- ①東西冷戦とその終結の流れ
- ②戦後の東アジア史(中華人民共和国・朝鮮戦争)
- ③戦後の東南アジア史(ベトナム・インドネシア中心)
- ④戦後のアフリカ
- ⑤国際連合と核問題関連史

★文化史とテーマ史★ *西洋文化史が多いですね！文字・貨幣・暦などの特殊テーマは小問である！*

- ①ルネサンス
- ②17～18世紀の文化(政治思想・哲学・絵画・文学)
- ③産業革命と社会主義思想
- ③19～20世紀の文学・学問(科学技術・文学・絵画)
- ④イスラーム文化(人物と書籍)
- ④文字の歴史(特に漢字を中心とするアジア系文字)
- ⑤貨幣・暦の歴史